

## 娯楽と生活

興行の歴史とは、危機の歴史でもある。震災や戦争はもちろん、時の権力に睨まれても、継続は難しい。戦時下の昭和十九年、「決戦非常措置要綱」が閣議決定され、全国の大劇場が閉鎖を命じられた。その後には、新聞に「驚くべき浪費を見よ」との見出しで、過去の入場者数や入場料金の統計が掲載されている(大笹吉雄『日本現代演劇史』)。それらがすべて「浪費」だと言いたいのだ。さすがに批判の声が上がり、一部の劇場の閉鎖が解除された。だが、いつまた閉鎖されるか分からぬ。再開された劇場には、我先にと客が殺到した。そんな状況下でも、人々が娯楽を求める気持ちの強さには、あらためて驚かされる。連日のように空襲がはじまると、観客は着衣のどこかに住所氏名を記した名札を縫い付けていたという。いつ空襲で死んでも、身許が分かるようにするためである。

昭和二十年五月、東京の劇場が次々と焼失していくなか、まだ残っていた新橋演舞場で六代目尾上菊五郎の公演が行われた。このとき、何か予感するところがあったのだろうか、菊五郎は座員に対して「演技なれば敵弾に倒れたら、それは本望ではないか」と語って舞台に上がっている。途中で警戒警報が発令されたため、菊五郎はいったん退き、再び現れて客席に向かって次のように呼びかけた。

「只今警戒警報が発令されました。一機だそうでございます。一機ぐらいで怖れいたらキリがありません。たいしたことはありませんから、皆さん、どうかそのままで少々お待ち下さい。解除になりましたらすぐ幕をあけますから……。但し、ご心配な方は御随意に」(大木豊『あの舞台この舞台』)

観客は、誰一人として立ち上がらなかった。しばらくして警戒警報が解除され、拍子木が鳴り、灯りがつき、場内は万雷の拍手で俳優を迎えた。

娯楽は、それを必要とする人にとっては、生活そのものだ。そして、今もなお、多くの人が待ち望んでいるのである。

文：笹山敬輔



笹山敬輔 Keisuke Sasayama：  
演劇研究者。1979年、富山県生まれ。筑波大学大学院博士課程人文社会科学  
研究科文芸・言語専攻修了。博士(文学)。著書に『演技技術の日本近代』(森話社)、  
『幻の近代アイドル史—明治・大正・昭和の大衆芸能盛衰記』(彩流社)、『昭和芸人  
七人の最期』(文春文庫)、『興行師列伝—愛と裏切りの近代芸能史』(新潮新書)。

# Mite Mite

「人と、街と、劇場をつなぐ。」 オーバード・ホール情報誌

AUBADE HALL

2020 - autumn  
VOL.

66



劇作家・演出家

俳優

# タニノクロウ × 緒方晋 「笑顔の砦'20帰郷」

現在、劇作家で演出家のタニノクロウが出身地・富山に滞在し、キャスト・スタッフとも「オール富山」で演劇をつくりあげるプロジェクト第2弾の制作が進んでいる。12月には、タニノの処女戯曲「笑顔の砦」を富山版に書きかえ、「笑顔の砦'20帰郷」と題して上演する予定だ。そして今回、特別出演として迎えたのが、俳優の緒方晋。「ダークマスター」関西版での演技が高く評価され、「関西Best Act」2016年上半期役者部門1位を獲得した実力派だ。富山のキャストとともに稽古を重ねる二人に、今の思いを聞いた。

人間本来の姿に近づく  
コントロールできない場所に身を置き



公演情報

タニノクロウ

Kuro Tanino/1976年生まれ。富山市出身。元精神科医という異色のキャリアを持つ劇作家・演出家。セゾン文化財団シニアフェロー（2015年まで）。2000年医学部在学中に劇団ペニノを旗揚げ。以降全作品の脚本・演出を手掛け、国内外で数々の作品を発表し、高い評価を得ている。2016年「地獄谷温泉 無明ノ宿」にて第60回岸田國士戯曲賞受賞。

——はじめに、タニノさんから見た緒方さん、緒方さんから見たタニノさんを教えてください。

タニノ 僕が思ういい俳優は、身の回りにどれだけ好奇心と想像力を持てるかが1番のポイントです。好奇心は、人から言われて持てるものじゃありません。だけど、稀に習性のように好奇心が湧いてくる人が、俳優の中にはいるんですよ。緒方さんは、周囲への関心が高くて、さらにそれを肉体を通して言葉で伝えるという癖までついています。インプットとアウトプットの両輪がある人は俳優として膨らみ続けるだろうから、すごく信用していますね。チームのモチベーションも高めてくれる存在です。

緒方 タニノさんに誘われて「ダークマスター関西版」（2016年）に参加した時、一緒に飲みに行ったんです。僕が演技の表現方法について質問を投げかけたら、「ちょっと待って。一緒につくっていきませんか」と言われたんです。そんなことを言う演出家と出会ったのは初めてでした。タニノさんは実際に、現場では生身の人間を見て、みんなと共に作品をつくり上げていく人でした。ただ、興味の対象が他に移ったら掴んでいたものをポイっと放るんですよ。それでいて今までの作品の流れが、すべてつながっているところが刺激的ですね。人間的にはインテリだけど泥臭いところもあって。大きな影響を受けた一人です。

——タニノさんは、「俳優ほど尊敬されるべき存在はない」と、語っていたと思いますが、そのことについてお聞かせください。

タニノ かつての僕は、野蛮な演出家のように、「右から左に何歩で歩いて」「何度の角度であっち見て」と俳優を動かす傾向が強かったです。けれど、彼らは作品にまつわるすべての役者やシーンとの関係性だけでなく、その作品が地域社会とどうつながり、どう影響し合っているかを常に考えながら稽古をしています。その思考が仏教に近いことに気づいたとき、彼らへの認識が変わり、尊敬されるべき存在だと思うようになったんです。

緒方 役者業は、正直いつやめようかと思うぐらいしんどい仕事ですが、「ダークマスター」フランス公演（ジャポニズム2018）に出演したとき、考え方ガラリと変わりました。芝居が終わった瞬間「ブラー！」という歓声と同時に、巨大な感動がストレートに伝わってきて、思わず号泣してしまったんです（笑）。芝居をしていて初めて世の中と繋がった感覚になりました。

タニノ しかも、全ステージ泣いたという（笑）。

緒方 食べるために、自分が尊敬できる作家や演出家と仕事ができれば満足だと思って、肩の荷が一気に楽になったんです。この公演はめちゃくちゃ楽しかったですね。死ぬ時も、あの時の光景を思い浮かべるだろうなっていうぐらい。

——タニノさんの作品は、「水の檻」（2015年）のように芸術的なものから、「笑顔の砦」のような人情劇まで、振り幅がありますよね。

タニノ その時の自分の素直な気持ちで作品をつくりたいと思っているからでしょう。それが、さっき緒方さんが言われたように、簡単に放るように見えるかもしれません。普通はそんなことをしていたらお客様は離れていくますが、20年も続けていると面白がってくれる人が増えてきて、今ではものすごくコアなファンに支えられています。

緒方 同じことを求められてそれを繰り返していくことは、何かに組み込まれているような気がするんですよ。僕にとって演劇作品のNo.1は「地獄谷温泉 無明ノ宿」（2015年）ですが、作風のまったく異なる「蛸入道 忘却ノ儀」（2018年）にも引き込まれました。タニノさんの自由なところがいいですね。興味が湧いたところに夢中で行くんですよ。付き合う方は苦労しますけど（笑）。

——今回のように地域で演劇を制作することについて、どのようにお考えですか？

緒方 富山の稽古場には芝居経験のある人もない人もいますが、皆さん一生懸命でキラキラしていて、すごく元気をもらっていますね。俺、やっぱりお芝居が好きなんだな。いろいろな環境の人と芝居の可能性を探ることは、一役者としても一社会人としても得難い経験になるんじゃないかなと思っています。

タニノ コロナ禍では、稽古期間を短くしたり、本読みをリモートで行うという対処方法をとる劇場や劇団が多いんですよ。けれど、このプロジェクトでは、稽古の間隔にゆとりを持たせながら長期にわたってつくり上げていくという方法を選択しました。四季を通して描いている今作が、一人ひとりの生活の中に長く居続けることは、役がどんどん心身に染み込んでいき、作品に厚みが増すのではないかと思っています。緒方さんの旺盛な好奇心が富山のキャストに伝播していくといいなとも思っていますね。

——2018～2019年に兵庫や大阪で上演された「笑顔の砦」には、「RE-CREATION」と銘打たれていましたが、富山版では「'20帰郷」とタイトルを変えられたのはなぜですか？

タニノ 今作は、流れ者と富山の家族が織りなす人情劇です。その物語の展開に「帰郷」という言葉が似合うと思ったからそう名づけましたが、同時に僕自身が作家としてどうありたいのかを考えた結論が、そのタイトルの根拠になっています。仕事では、「こういう作品にしたい」「そのためにどう手を打つのか」ということを朝から晩まで意識し続けていますが、その一方で自分の子どもが無邪気に育っています。その成長を見るにつれ、日頃の意図的な

作業が苦しくなっていったんです。こんな生活を続けていたら病気になってしまふんじやないかと。「コントロールできない場所に身を置き、人間本来の姿に近づきたい」という思いを作品に反映させたところが、「笑顔の砦 RE-CREATION」との大きな違いです。

——「笑顔の砦」とは「ずっと笑っていられる場所」という意味だそうですが、お二人にとってそのような場所は？

タニノ 大切な人たちの集まりですかね。いや、そんな場所はないかもな。ずっと求め続けているのかもしれませんね。

緒方 僕にとっての「笑顔の砦」は、なかなかダサいのですが、嫁との生活がそれに近いです。すごく尊敬できる女性なので、嫁がない生活は考えられないですね。昔は、こんなキャラじゃなかつたんですけどね（笑）。



死ぬまで繋がった瞬間を

緒方晋

Susumu Ogata/1972年生まれ。大阪府出身。1998年に大阪でThe Stone Ageの旗揚げメンバーとして参加。以降は劇団員として全ての作品に出演。現在は休団中。2016年から拠点を東京に移し活動中。近年の主な舞台出演作品に庭劇団ペニノ「ダークマスター」「笑顔の砦」、オフィスコットーネ 改訂版「埒もなく汚れなく」、らまと「優しい顔ぶれ」等。

## AUBADE HALL Produce タニノクロウ × オール富山 2nd stage 「笑顔の砦'20帰郷」

作・演出：タニノクロウ

出演：緒方晋（特別出演）、山崎広介、谷屋桃威、中尾慎一  
坂井宏彰、和田彩花、森良子、柿本弘一、石川雄士、仲悟志

【あらすじ】漁師たちにはそれぞれ、しくじった過去がある。彼らが流れ着いた場所—富山。漁師たちが住むアパートに、ある家族が引っ越してくる。兄弟のように仲良く、笑いの絶えない日々を送る漁師。認知症の母親を持つ家族。まるで違う二つの部屋、二つの時間。しかし、次第に影響し合い、何気ない日常は変化していく。本当はただ笑って生きていきたいだけなのに。

日時：2020年12月 2日（水）3日（木）4日（金）5日（土）6日（日）

13:00 開演	●	●	●	●	●
19:00 開演	●	●	●	●	●

会場：オーバード・ホール舞台上特設シアター

チケット：【全席自由・整理番号付き・税込】一般：4,000円 U-25：2,500円

\*U-25：観劇時に25歳以下対象。ご入場の際、身分証が必要です。※未就学児入場不可。

\*新型コロナウイルス感染予防対策として、全座席数（260席）の半数の座席を販売します。

状況によっては、座席数を追加して販売する可能性があります。

プレイガイド：アスネットカウンター ★チケットのお求めはPII「チケット購入方法」をご覧ください。

有料オンデマンド配信 Vimeoで配信予定！

○抽選で「笑顔の砦'20帰郷」オリジナルグッズをプレゼント！ ★詳細はPIIをご覧ください。

★詳細、最新情報はオーバード・ホール公式HPでご確認ください。



## 漁師たちが暮らす四軒長屋をリアルに再現。

2019年3月の「ダークマスター 2019 TOYAMA」では、公募による美術スタッフが緻密な舞台セットを作り上げ、観客を驚かせた。  
「オール富山」プロジェクトの第2弾となる今回も、舞台美術家・稻田美智子のもと、経験不問で集まった20名が8月より製作に挑んでいる。

時代は現代。富山の心象風景を背景に、味わい深い四軒長屋がたたずむ。この「笑顔の砦 ’20帰郷」の舞台セットを作るためには、集まった美術スタッフは、大学生から60代まで幅広い年代の人たち。彼らが製作に励むアトリエは、ものづくりへの熱量と木の香りに満ちている。誰もが真剣な表情で木の切断や釘打ち、塗装などに高じているが、約8割が未経験者だ。美術指導の角井浩さんは、「初めてトンカチを持つ方も楽しんで取り組めるよう、あえて苦手なものにも挑戦してもらっています。それでも怯むことなく熱心に取り組まれるので、予定より早く進んでいます」という。

ギーコギーコとノコギリの音を立てる嶋倉由佳さん(50代)は、ダンスや歌などに何年も取り組んできた。「オーバード・ホールからたくさんの夢や感動をもらっていました。恩返しをしたくて初参加したんです。今はお互いに助け合ってひとつの目標に向かえる楽しさを味わっています」。その近くで作業に励む岡田晃範さん(30代)も初参加の一人。富山での演劇活動を生かして、本公演のキャストオーディションにも応募した。「キャストとして出演できなくても、舞台セットは一番長く観客の前に立つことができ

ます。少しでも貢献できたら」と笑顔を見せる。

「ダークマスター」に引き続き参加した内山勇さん(60代)。今回も応募したのは、難解な面白さで観客を魅了する作品に携われた喜びが大きかったからだ。それに加え、もともとDIY好きということもある。「釘の打ち方を教わり、窓枠の角を取るという新しい作業にも挑戦できました。毎回新鮮で楽しいです」と微笑む。

彼らの目指すゴールは、美術プランを手がける稻田美智子さんが製作した模型どおり、精巧な舞台セットをたちあげることだ。みんなと一緒に汗を流す彼女に、製作するうえでのポイントを聞いた。「屋根に映ろう影や光の射し込み方など、照明との相乗効果によって時間や季節が経過していく様を伝えられるよう、屋根にはセメント瓦、外壁にはトタン。風合いの出やすい素材を用いました。もちろん、細部にも気を抜いていません」。そのそばでスタッフたちは、きれいに切断したばかりの縁台を古く見せるために、あえて周囲をノコギリなどで削り出していく。

性別も年代も経験の有無を超えて、みんなで作り上げる舞台美術は、観客から見えないところにも神経が行き届いている。公演の暁には、随所に至るまで細かくご覧いただきたい。



## 演出家とキャストをつなぐパイプ役。



鍋や箸、洗剤などが置かれたテーブル、その傍らには座布団が敷かれている。「笑顔の砦 ’20帰郷」の稽古場だ。演者の目の前中央には、演出家・タニノクロウが座っている。「やってみましょうか」という彼の掛け声で、役者が動き出した。その右隣で稽古を見つめながら、周囲に意識を張りめぐらせているのが、演出助手の宇野津達也だ。

### 細かな変化に、柔軟に対応。

例えば、神棚の拝み方やジャンパーの掛け方、お湯を注いだ後のやかんの場所など、ちょっとした動作から小道具の位置まで、役者が演じては演出家と意見を出し合い、少しづつ正解を積み重ねていく。その細かな修正を把握するだけでなく、稽古場にいない照明スタッフにも役者の動きを伝えなければならない。時には、台本が書き換えられることもある。その変更点をまとめてキャストやスタッフに伝えるのも、宇野津の仕事だ。稽古が円滑に進むように、また演出家がクリエイティブな作業に集中できるように、その多岐にわたる仕事をフォローしていく。

### 役者の気持ちをサポート。

タニノクロウの作品に携わるのは、昨年の「ダークマスター 2019 TOYAMA」に続き、今回で2回目。前作同様、共に演出助手を務める広田郁世と役割分担し、演出家を支える。自身の主な仕事を「演出家とキャストをつなぐパイプ役」と称する彼が最も力を注いでいるのが、役者の精神面のケアだ。「いろいろな不安と戦っていると思うので」と、自身も役者であるからこそ、その葛藤に想いを馳せられる。さりげなく声をかけ、不安や悩みに耳を傾ける。ベテランから初舞台の人まで、できるだけ同じペースで進んでいくように、その気持ちに寄り添いながら演出家の要望を伝えることで、双方の意思疎通をスムーズに、一人ひとりの表現をサポートしていく。

### 現場の熱をキープする。

劇中では、麻雀をしながらタバコを吸い、セリフを言うシーンがある。麻雀経験の少ない人は、どうしても指先にばかり意識が集中してしまうため、自然にセリフを言うには牌の扱いに慣れなければならない。自主練を段取り、次の稽古までに演技のクオリティを高める手助けをするのも仕事の一つだ。成果がなかなか形となって現れにくい仕事だが、その幕があく瞬間まで現場を支え続けている。

宇野津達也(うのづたつや)：1983年富山市生まれ。ケーブルテレビのキャスターをはじめ、俳優、脚本家、演出家として活躍。2001年に結成した劇団『演人全開 血が滾ってきたぜ！』の主宰を務め、ほぼすべての公演で脚本、演出を担っている。

新国立劇場 こどものためのバレエ劇場2020

# 「竜宮 りゅうぐう」～亀の姫と季の庭～

演出・振付・美術・衣裳 森山開次

2020.9.22(tue)



バレエ・ファンタジーで、美しい時空を旅する。

コロナ禍では、オーバード・ホール今年度初の主催公演となる、こどものためのバレエ劇場2020『竜宮りゅうぐう』が実現しました。舞台裏からリハーサル・公演まで、森山開次による新しいバレエの世界を密着取材しました。



森山さんがデザインしたユニークでかわいい衣裳がオーバード・ホールの樂屋廊下にずらりと並んでいる。



衣裳には、取り間違えないように名前や出演シーンの順番が書かれたタグが付けられている。



『竜宮』になくてはならない小道具の数々。とても精巧に作られている。



**舞台裏  
リハーサル**  
新国立劇場バレエ団・制作担当の矢代さんに、普段見ることのできない舞台裏やりハーサルの様子をガイドしていただきました。



舞台スタッフたちによる入念な打ち合わせ。



ダンサーたちが登場し、リハーサルを開始。



『竜宮』は吊り物やプロジェクションマッピングを多用した舞台セットも見もの。



バックステージ  
ダイジェスト動画はコチラ！



さらに続きを  
見たい方

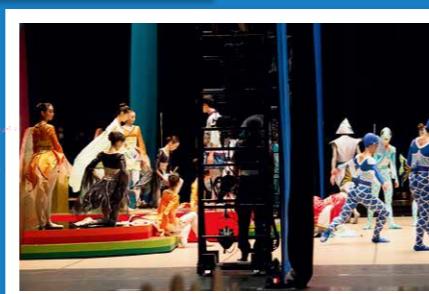
アスネット会員(有料)限定

ミニバックステージツアー  
全編(約10分)公開中！

詳細は10月末にお送りしましたDMをご覧ください。



それぞれのパートを確認。最終リハーサルにも熱が入る。



袖で出番を待つダンサーの姿は美しい。



玉手箱を開けてしまった太郎。立ち上る煙の演出がリアル。太郎はその後、鶴の姿に…。



美しいバレエ・ファンタジーに感動したお客様からはスタンディングオペーションが起きました！

撮影：akophotograph



「時」の案内人が、物語のはじまりを告げます。はるか昔にタイプスリップしたような舞台は、浦島太郎伝説の世界へ。



突然白兎が登場し、ウサギとカメのお話になる遊び心も。



月と竜田姫が美しい日本の四季の時を表現。



竜宮城での楽しい宴。イカ、マンボウ、タツノオトシゴ、タイなどたくさんの海の生き物たちが、太郎をおもてなし。



1席ずつ間隔を空けた座席は、公演を待ち望んでいたお客様で4階まで埋まりました。



夢のような時を過ごす太郎と亀の姫に別れるの時が訪れる。



美しいバレエ・ファンタジーに感動したお客様からはスタンディングオペーションが起きました！

撮影：akophotograph

# おうち demo オーバード

オーバード・ホールや富山市民芸術創造センターが配信するオンラインコンテンツ、アーティストやスタッフが出演するラジオ番組を一挙ご紹介します！  
芸術の秋。お家でも、外出先でも、劇場気分を味わってみてはいかがでしょう？

## 「舞台の上の美術館II」アーカイブ配信！ 無料

初めて観る景色の連続！

2017年に開館20周年を記念して開催した「舞台の上の美術館II」。5日間の会期に8,400名が来場し、富山で大きな話題となった。テニスコート7面分を誇るオーバード・ホールの舞台に巨大な造形作品を展開し、光と音など舞台機構を駆使して壮大なアート空間をつくりあげた。あの日、劇場では一体何が起っていたのか！メイキングから、ダンス、ライブまで、全ての記録映像を公開する。



企画担当 福岡美奈子 メッセージ  
コロナ禍で劇場の存在意義を考えていた時、ふと3年前に制作した【舞台の上の美術館 II】の記録映像を見直しました。映像にも関わらず、気持ちが高揚して、やっぱり劇場は面白いなあと笑っていました。想像力次第で、何だって出来る自由な空間に励ましたような気がしたのです。本展をご覧になった方、そうでない方も、舞台で起きたことを是非ご覧ください。特にメイキングと「仮様祭り」はオススメ。狂喜乱舞する富山の市民ダンサーに驚かれることと思います。公開にあわせて収録した「タニノクロウ×清河北斗」対談も是非。1時間の長い対談になりましたが、これでも半分はカットしたのです。

「舞台の上の美術館II」  
アーカイブ配信 特集ページ



AUBADE HALL Presents  
ベートーヴェン入門講座  
「楽聖と呼ばれた男」  
オンライン受講受付中！

1講座 500円



【講師】浦久俊彦  
(文筆家・文化芸術プロデューサー)

ベートーヴェン生誕250周年の記念講座

ホール受講のチケットは、すでに完売。しかし、オンライン受講はまだ受付けている。見逃し配信もあるので、秋の夜長のお供にベートーヴェンはいかが？

企画担当 藤田充博 メッセージ  
知ってほしい楽聖の素顔！

未知の音楽を聴き始めるには、何らかのキッカケが付きもの。作曲家人間性を少し知るだけで、聴こえ方が変わるもの。日常を非日常の景色に変えてくれる名曲を数多く生み出した大作曲家、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンは今年生誕250周年を迎えました。講師の浦久俊彦さんが紐解く楽聖の素顔。そして名曲たちの生演奏、講師とゲスト演奏家のクロストークもお楽しみいただけます。  
会場に来られない方も、パソコン・スマートフォン等の通信機器があれば、どこでもオンライン受講が可能。各回2週間の見逃し配信もあるので時間が合わない方にもオススメです。普段のコンサートでは体験できない、映像ならではのカメラアングルもお楽しみください。

【今後の開催日程】※全日程15:00開講

◆ 2限目 <中期> 11月1日(日)

「ベートーヴェンと甘~いワインの謎」  
演奏曲：ピアノソナタ第14番嬰ハ短調 op.27-2「月光」  
ピアノ：佐藤祐希



◆ 3限目 <後期> 11月3日(火・祝)

「ベートーヴェンと温泉」  
演奏曲：ピアノソナタ第23番へ短調 op.57「熱情」  
ピアノ：中川佳美

◆ 4限目 <総集編> 12月13日(日)

「ベートーヴェンと宇宙」  
演奏曲：弦楽四重奏曲の大フーガ変ロ長調 op.133  
弦楽四重奏曲第16番へ長調 op.135より第1楽章、第4楽章



渋谷優花 (Vn.) 新井紗央理 (Vn.) 内山隆達 (Vla.) 井上貴信 (Vc.)

配信チケット購入ページ



## Webパフォ 2020 無料 パフォーマンス動画募集 & 動画公開！

富山市民芸術創造センターで毎年開催している「トヤマ・パフォーミングアーツ・フェスティバル」。今年は新型コロナウイルス感染予防のためステージ開催は行わず、HP特設サイトに市民グループのパフォーマンス動画を一挙公開する形で実施する。音楽、演劇、ダンス…Webを通してアートの競演を楽しんで！

企画担当 角井敬 メッセージ  
市民芸術グループの練習拠点として、ますますニーズが高まる富山市民芸術創造センター。新型コロナに負けるな！ということで、センターのヘビーユーザーたちによるパフォーマンスがWeb上で白熱します。さまざまなジャンルの熱いパフォーマンスに、ぜひ、ご期待ください。

◆投稿動画応募締切：11月15日(日)

※動画は11月下旬～2021年3月まで

富山市民芸術創造センター HP内

「Webパフォ 2020」特設サイトで公開します。

なお、特設サイトの公開後も動画投稿は引き続き募集します。

応募条件や申込方法についての詳細はHPをご覧ください。



FMとやま「grace」内  
「おしゃべりマチネ」  
放送スタート！



オーバード・ホール隣接のアーバンプレイス1階に、FMとやまのサテライトス

タジオ「アーバンスタジオ」が今年3月にオープン！そして10月からオーバード・ホールの番組「おしゃべりマチネ」の放送がスタートした。毎月3回、主催公演の出演アーティストなどを迎えて、公演についてはもちろん、その素顔を深掘りしていく。

◆「grace」内「おしゃべりマチネ」  
FMとやま 82.7MHz  
毎月第1～3火曜日 14:25頃～  
パーソナリティ：垣田文子

FMとやま「grace」月・火担当パーソナリティ  
垣田文子 メッセージ  
舞台ファンの皆さんにとって、生のライブや舞台が観られなかったこの数ヶ月がどれほど長く感じたことか。それは関係者の皆さんにとっても同じ、いや、それ以上だったかもしれません。「おしゃべりマチネ」では、公演の前後におしゃべりを楽しむように、オーバード・ホールの裏表を彩る皆さんに芸術・文化への想いなどのお話を伺っていきます。次はどんな舞台に出会えるから？そんな期待とともに、耳を傾けて頂けたら嬉しいです。

富山シティエフエム  
「金曜日はドキドキ!!」内 スポットガイド 放送中！

オーバード・ホールのスタッフが生出演し、約20分間ざっくばらんなトークを繰り広げる。公演への熱い想いから、雑談まで(!?)、ホールスタッフの素顔が垣間見えるのがこの番組。アーティストなどのスペシャルゲストが登場することも。

◆「金曜日はドキドキ!!」内 スポットガイド  
富山シティエフエム 77.7MHz  
毎月第4金曜日 14:15頃～  
パーソナリティ：濱谷光

富山シティエフエム パーソナリティ  
濱谷光 メッセージ  
現場にいるからこそ知っている、公演に関する裏話や出演者のエピソードなどが聞けるかも!?ときには、出演アーティストや県外の制作スタッフへのインタビュー、バックステージの様子を紹介することもあります。耳で楽しむ芸術の秋、ぜひお聴きください！



11/2・3  
Mon Tue | ミュージカル「生きる」

日本ミュージカル界のレジェンドが放つ、ジャバニーズミュージカルの金字塔！

- ◆出演＝市村正親  
鹿賀丈史（ダブルキャスト）ほか
- ◆開演＝11/2（月）18:30  
11/3（火・祝）13:00
- ◆会場＝オーバード・ホール
- ◆料金＝[全席指定・税込]  
S席 13,500円 A席 9,000円  
B席 7,500円



11/7  
Sat | 山中千尋トリオ・ツアー 2020 富山公演

日本が世界に誇るジャズ・ピアニストがオーバード・ホールに初登場！

- ◆出演＝山中千尋（ピアノ、キーボード）、須川崇志（ベース）、橋本現輝（ドラムス）
- ◆開演＝17:00
- ◆会場＝オーバード・ホール
- ◆料金＝[全席指定・税込]  
S席 5,500円 A席 4,500円（当日500円高）  
アスネット会員特別価格（前売のみ）  
S席 4,500円 A席 3,500円



※当公演は7/3（金）の振替公演です。

残席わずか

11/16  
Mon | 12/10  
Thu | 市民のためのランチタイム  
ジョイフルコンサート

- ◆時間＝11:50～12:50
- ◆会場＝富山市民プラザ アンサンブルホール
- ◆入場無料・要事前申し込み
- ◆定員＝各110名（応募多数の場合は抽選）

**Vol.73** 11/16（月）  
出演＝織方里珠・増山理恵（フルート）、清水香里（ピアノ）  
申込期間＝10月20日（火）～30日（金）

**Vol.74（クリスマスコンサート）** 12/10（木）

- 出演＝谷口琴音（ソプラノ）、近藤洋平（テノール）、松井奏幸（クラリネット）、西森久美子（ヴァイオリン）、中川歩美（ピアノ）  
申込期間＝11月17日（火）～25日（水）



オーバード・ホールHP内「ジョイフルコンサート」特集ページよりお申し込みください。QRコード

2021 1/16  
Sat | 音楽の絵本～笑門来福～

民謡に演歌に大喜利…いつものクラシックとは一味違うお正月限定プログラム。

- ◆出演＝ズーラシアンプラス、弦うさぎ、クラリキット
- ◆開演＝14:00
- ◆会場＝婦中ふれあい館  
ふれあいホール
- ◆料金＝[全席指定・税込]  
高校生以上3,000円  
中学生以下1,500円  
3歳以下膝上鑑賞無料  
(座席が必要な場合は有料)



好評発売中

U-25

25歳以下対象の座席引換券。座席はお選びいただけません。公演当日、当日券窓口で身分証ご提示の上、入場券とお引換ください。※年齢による入場制限については、各公演で異なります。

情報は2020年10月15日現在のものです。新型コロナウイルス感染対策を徹底して上演します。感染状況によっては公演の開催に変更が生じる場合がございます。  
ご来場前にはオーバード・ホール公式HPで最新情報をご確認いただきますようお願いします。

#### 富山市民文化事業団 主催公演 中止のご案内

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、右記の公演については、やむを得ず中止とさせていただきます。公演を楽しみにされていたお客様には残念なお知らせとなりますが、何卒ご理解、ご了承を賜りますようお願い申し上げます。

7月5日(日)  
※延期から中止に変更

マシュー・ボーン IN CINEMA／ロミオとジュリエット

12月26日(土)

第九交響曲“歓喜のタベ”2020

2021年1月29日(金)

ニューイヤースペシャルコンサート2021  
第18回ショパン国際ピアノ・コンクール 入賞者ガラ・コンサート

2021年3月

中尾ミエプロデュース 市民参加型レビューショー

#### チケット 購入方法

アスネットカウンターで  
お買い求めください。

インターネット

アスネットオンラインチケット  
[www.aubade.or.jp](http://www.aubade.or.jp)

24時間予約可能

※ご利用の際には会員登録が必要です。

電話予約

アスネットカウンター（オーバード・ホール1F）  
TEL. 076-445-5511  
10:00～18:00  
定休日：月曜（月曜が祝日の場合、翌日休み）

窓口販売



information



富山でコンサートや演劇公演を開催したい方、必見！

## オーバード・ホール チケットシステム「アスネット」でチケット販売しませんか？

富山の舞台芸術ファンが多数登録する、地域密着型プレイガイド「アスネット」。  
この度、オーバード・ホールHPにチケット委託販売の特集ページをオープンしました。  
富山で開催される公演のチケット販売に、ぜひご活用ください！

詳しくはこちらから→



### アスネットの特徴

#### 1 複数の予約・発券方法で、幅広い客層に対応！

Webなら24時間チケットの予約ができます。さらに、全国のセブン-イレブンでチケットを受け取れます。そして、安心の窓口販売も充実。インターネット環境の無い方にも重宝されています。

#### 3 富山の舞台芸術ファンが多数登録！

アスネットには、「アスネット会員（有料会員）」約1,600名に加えて、「メール会員（無料会員）」約6,000名が登録しています（2020年10月現在）。

#### 5 取り扱いジャンルも豊富！

舞台芸術に限らず、映画や美術展、ポップス、演歌など幅広いジャンルのチケットを取り扱うことができます。

#### 7 アスネット会員向けのダイレクトメールに、無料チラシ折込サービス！

販売登録された催事についてご希望の方には、ダイレクトメールへのチラシ折込サービスを行います。

#### 2 指定席公演の座席選択が可能！

チケットを買うお客様が座席を選べるのは、アスネットの大きな特徴の一つです。

#### 4 催事ごとの登録料は不要！

催事ごとに登録料がかかるプレイガイドもありますが、アスネットでは不要です。

#### 6 いつでも販売状況が確認できる！

チケットの販売枚数はWebで随時ご確認いただけます。問い合わせる手間がなくなりました！

#### 8 チケット払い戻しも対応できます！

催事の中止・延期が発生した場合の払い戻しにも対応できるようになりました。

#### ご来場のお客様へのお願い



- 会場内ではマスクをご着用ください。また手洗い、手指消毒の徹底にご協力ください。
- 平熱と比べて高い発熱や咳が出る等、体調に不安のある方は、来場をお控えください。
- 入場時にサーモカメラ、非接触型体温計等による体温チェックをさせていただきます。
- 客席、ホワイエ等でのご歓談、舞台への声掛け・ご声援はお控えください。
- 出演者などへの差し入れ、楽屋面会等はご遠慮ください。
- クローケルサービス、ドリンクカウンター・冷水器、チャイルドシート・ひざ掛けの貸し出しを中止いたします。

#### Mite Mite アンケートご協力のお願い

より良い情報誌を作るために、ぜひ皆様の率直なご意見をお聞かせください！

\*

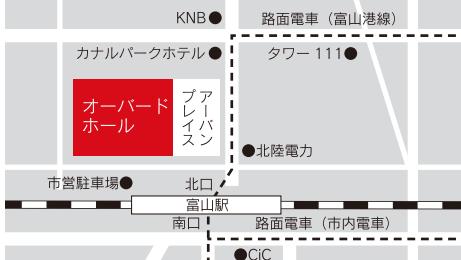
アンケートにお答えいただいた方の中から  
抽選で3名様に、「笑顔の塔’20帰郷」  
オリジナルグッズをプレゼントします！

\*

回答期間：10月28日（水）～12月6日（日）

回答はこちらから→

交通のご案内  
鉄道利用：富山駅下車、北口正面から徒歩2分  
航空利用：富山空港よりタクシーで約25分、  
バスで富山駅まで約30分  
お車利用：北陸自動車道 富山I.C.出口から約20分



オーバード・ホール（富山市芸術文化ホール）  
〒930-0858  
富山県富山市牛島町9-28  
TEL. 076-445-5620  
<http://www.aubade.or.jp>

最新情報はHPをご覧ください

ミテミテ66-2020.autumn号  
発行日：2020年10月26日  
発行所：公益財団法人 富山市民文化事業団  
TEL. 076-445-5610  
企画・編集：Mite Mite編集室  
Design : CROSS  
Cover Photo : 今寺学

